

2019年12月期 第2四半期累計(1月1日~6月30日) 決算説明資料

2019年8月8日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2019年12月期 第2四半期累計(1月1日~6月30日) 決算概要

◆資料内の表記

BC: ベビーケア事業

FC: フェミニンケア事業

HC: ヘルスケア事業

C&F: クリーン&フレッシュ事業

PC: ペットケア事業

● 連結業績

- ✓ 売上高3,425億円(5.2%増収)、コア営業利益392億円(17.0%減益)。
- ✓ コア営業利益率(COPM) 14.5%⇒11.5%(原材料高騰の影響を除けば13.2%)
- ✓ 連結業績予想に対する進捗は計画どおり(売上高進捗率46.9%、コア営業利益進捗率39.2%)。

● 日本業績(5.7%減収、36.9%減益)

- ✓ HC、PCが増収。FC、C&Fは、2Qより、リニューアル品等で増収。
- ✓ BCは、中国向け越境ECの在庫調整や転売業者の減少等により減収も2Qから改善傾向。
- ✓ 原材料費や物流費の高騰と九州工場の稼働、越境EC鈍化による稼働率悪化等により減益。
- ✓ 下期は、新商品の投入や越境ECの在庫調整が進み増収増益を見込む。

● 海外業績(12.5%増収、8.9%増益)

- ✓ アジア・・・14.0%増収、7.8%増益。コア営業利益率(COPM)11.5%。
前年のM&Aと為替、原材料高騰の影響を除くと、実質、約9%増収。COPMは14%超。
- ✓ 主要国・・・中国、インドネシア、インド、中東が好調を継続し増収を牽引。
- ✓ 中国・・・FCは好調を継続、現地の中国BCの業績は順調に改善し、アジアの増収増益を牽引。
- ✓ インド・・・BC、FCともに、先行的に積極的なマーケティング投資を実施し高成長を持続。

● 株主還元

- ✓ 配当金・・・中間配当金は予定どおり1株当たり2円増配の14円。期末配当金も14円を計画。
- ✓ 自己株式取得・・・150億円、500万株上限に対し、6月末現在 約150億円、約424万株取得。

**5.2%増収、17.0%営業減益。売上高は過去最高を更新。
連結業績予想に対し、売上高、コア営業利益ともに計画どおり。**

■ 連結決算ハイライト

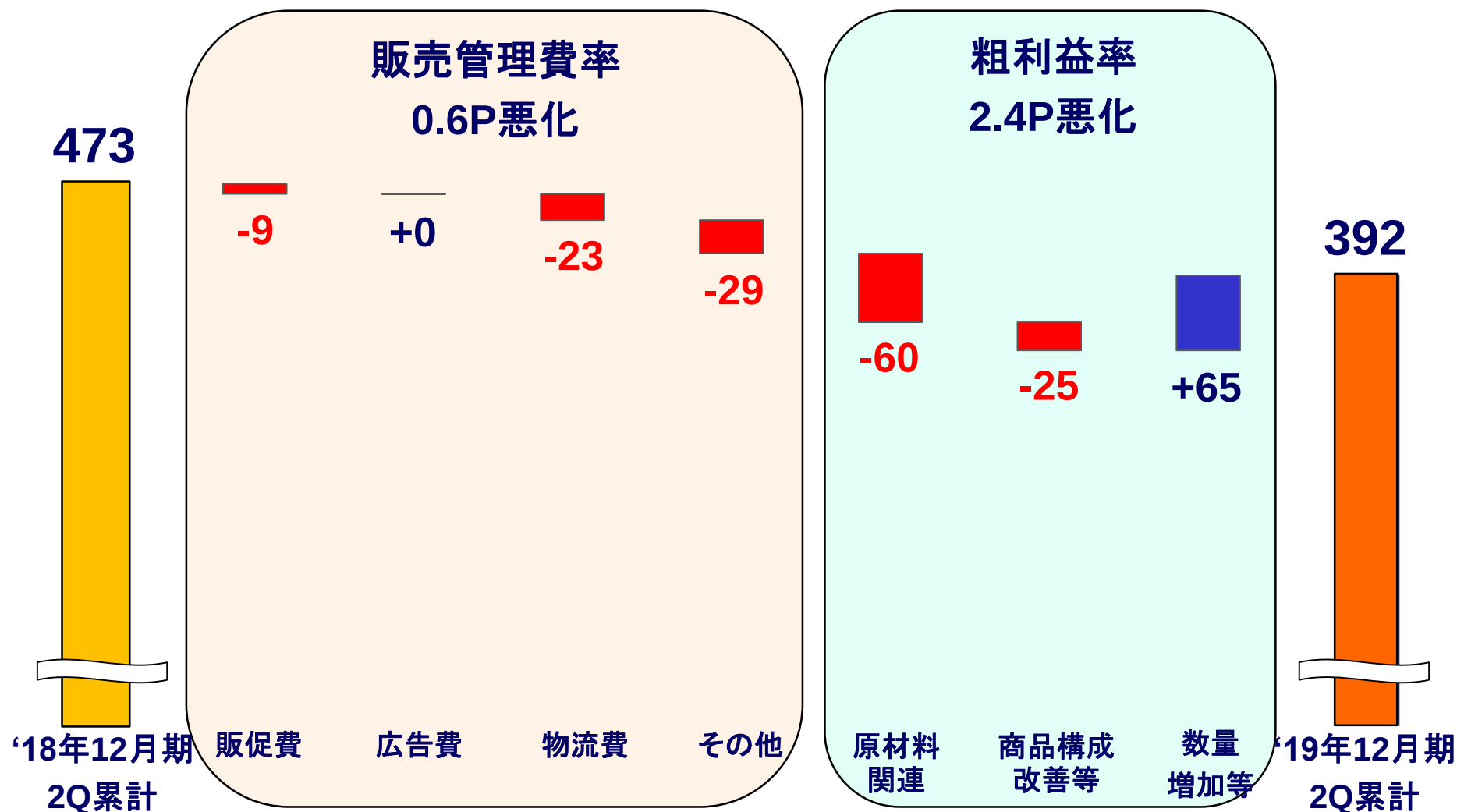
(百万円)

	‘18/12月期 2Q累計	‘19/12月期 2Q累計	増減額	増減率	(業績予想) ‘19/12月期	進捗率
売上高	325,685	342,498	+16,813	+5.2%	730,000	46.9%
コア営業利益 (利益率)	47,269 (14.5%)	39,220 (11.5%)	-8,049	-17.0% (-3.0P)	100,000 (13.7%)	39.2%
税引前四半期利益 (利益率)	45,418 (13.9%)	39,002 (11.4%)	-6,416	-14.1% (-2.5P)	96,500 (13.2%)	40.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	30,001 (9.2%)	25,298 (7.4%)	-4,703	-15.7% (-1.8P)	63,500 (8.7%)	39.8%
基本的1株当たり四半期利益(円)	51.10	42.51	-8.59	-16.8%	106.92	—
USDレート(円)	108.68	110.05	+1.37	+1.3%	109.50	—
中国元レート(円)	17.09	16.20	-0.89	-5.2%	15.90	—

アジアでの積極的なマーケティング投資による増収効果はあったが、原材料価格の上昇や商品構成の悪化、九州工場の始動による費用等を吸収できず81億円の減益。

■ コア営業利益増減

(億円)



アジアでは、中国が増収増益を牽引、インドは高成長を持続。
日本は、HC、PC好調、BCは越境EC等で減収も改善傾向。
その他は、中東、ブラジル、米国が好調を継続。

■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

		‘18/12月期 2Q累計	‘19/12月期 2Q累計	増減額	増減率	(参考) 実質 増減率 ^{※1}
日本	売上高	131,520	124,062	-7,458	-5.7%	—
	コア営業利益	27,065	17,075	-9,990	-36.9%	—
	(利益率)	(20.6%)	(13.8%)		(-6.8P)	—
アジア	売上高	143,446	163,479	+20,033	+14.0%	+17.3%
	コア営業利益	17,470	18,839	+1,369	+7.8%	+10.6%
	(利益率)	(12.2%)	(11.5%)		(-0.7P)	—
その他 ^{※2}	売上高	50,718	54,956	+4,238	+8.4%	+9.5%
	コア営業利益	2,557	2,973	+416	+16.3%	+11.4%
	(利益率)	(5.0%)	(5.4%)		(+0.4P)	—
調整額等	売上高	—	—	—	—	—
	コア営業利益	176	332	+156	+88.6%	—
	(利益率)	—	—		—	—
連結	売上高	325,685	342,498	+16,813	+5.2%	+6.8%
	コア営業利益	47,269	39,220	-8,049	-17.0%	-16.3%
	(利益率)	(14.5%)	(11.5%)		(-3.0P)	—

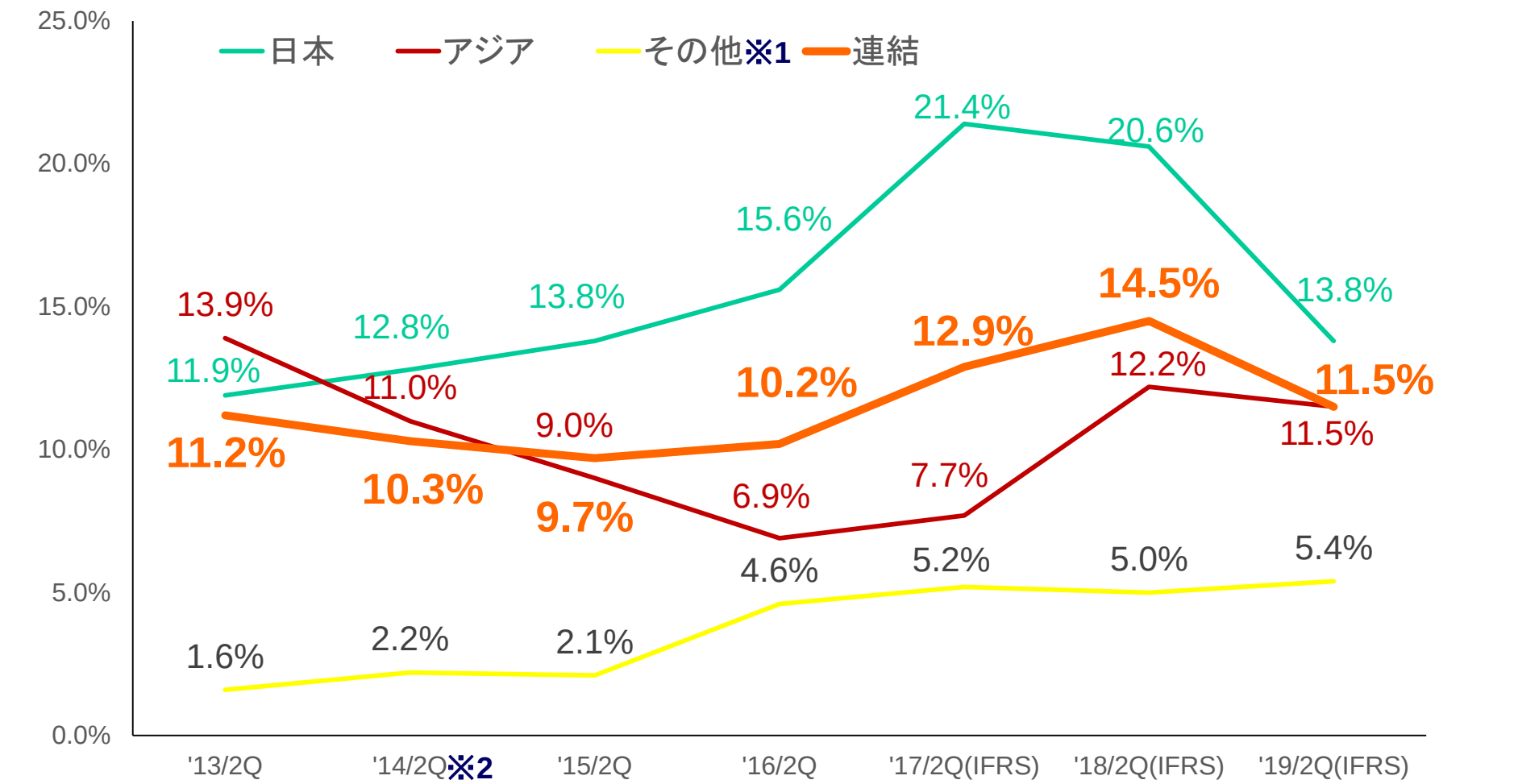
※1:実質増減率は為替変動を除く増減率。

※2:その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

全地域において原材料価格の高騰が影響。
日本では1Qは越境ECの在庫調整が影響も2Qより改善傾向、
また九州工場の稼働、物流費の高騰等も影響。



■ 所在地別 コア営業利益率(営業利益率)



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。
※2: 決算期変更により変則的な決算期間。

パーソナルケアは海外好調のなか、原材料の高騰や越境EC
鈍化等の影響で増収減益。下期は越境ECが回復基調となり、
原材料が下落すること等が想定され増収増益を見込む。



■ 事業別セグメント情報

(百万円)

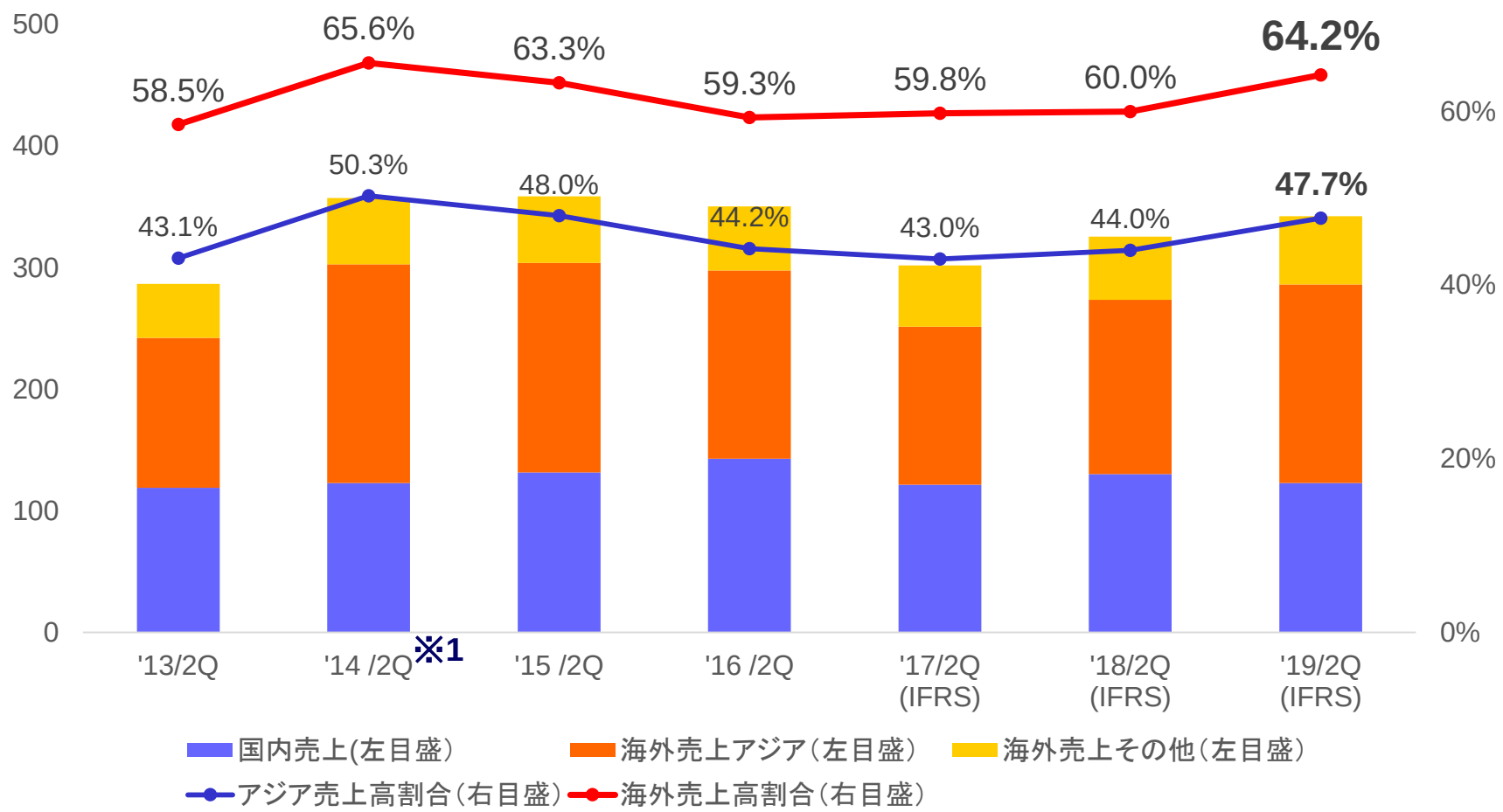
		‘18/12月期 2Q累計	‘19/12月期 2Q累計	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	284,046	298,923	+14,877	+5.2%
	コア営業利益	42,743	34,630	-8,113	-19.0%
	(利益率)	(15.0%)	(11.6%)		(-3.4P)
ペットケア	売上高	38,126	40,362	+2,236	+5.9%
	コア営業利益	4,496	4,538	+42	+0.9%
	(利益率)	(11.8%)	(11.2%)		(-0.6P)
その他 ^{※1}	売上高	3,528	3,231	-297	-8.4%
	コア営業利益	29	52	+23	+75.5%
	(利益率)	(0.8%)	(1.6%)		(+0.8P)
調整額等	売上高	-16	-18	-2	—
	コア営業利益	—	—	—	—
	(利益率)	—	—	—	—
連結	売上高	325,685	342,498	+16,813	+5.2%
	コア営業利益	47,269	39,220	-8,049	-17.0%
	(利益率)	(14.5%)	(11.5%)		(-3.0P)

※1:その他は産業用資材関連商品等、育児動画配信サービス。

海外売上高構成比は64.2%（為替影響を除くと64.7%）。



■ 国内・海外売上高推移
(十億円)



※1: 決算期変更により変則的な決算期間。

為替変動の影響額は
売上高 約54億円減、コア営業利益 約4億円減。

■ 通貨別変動推移

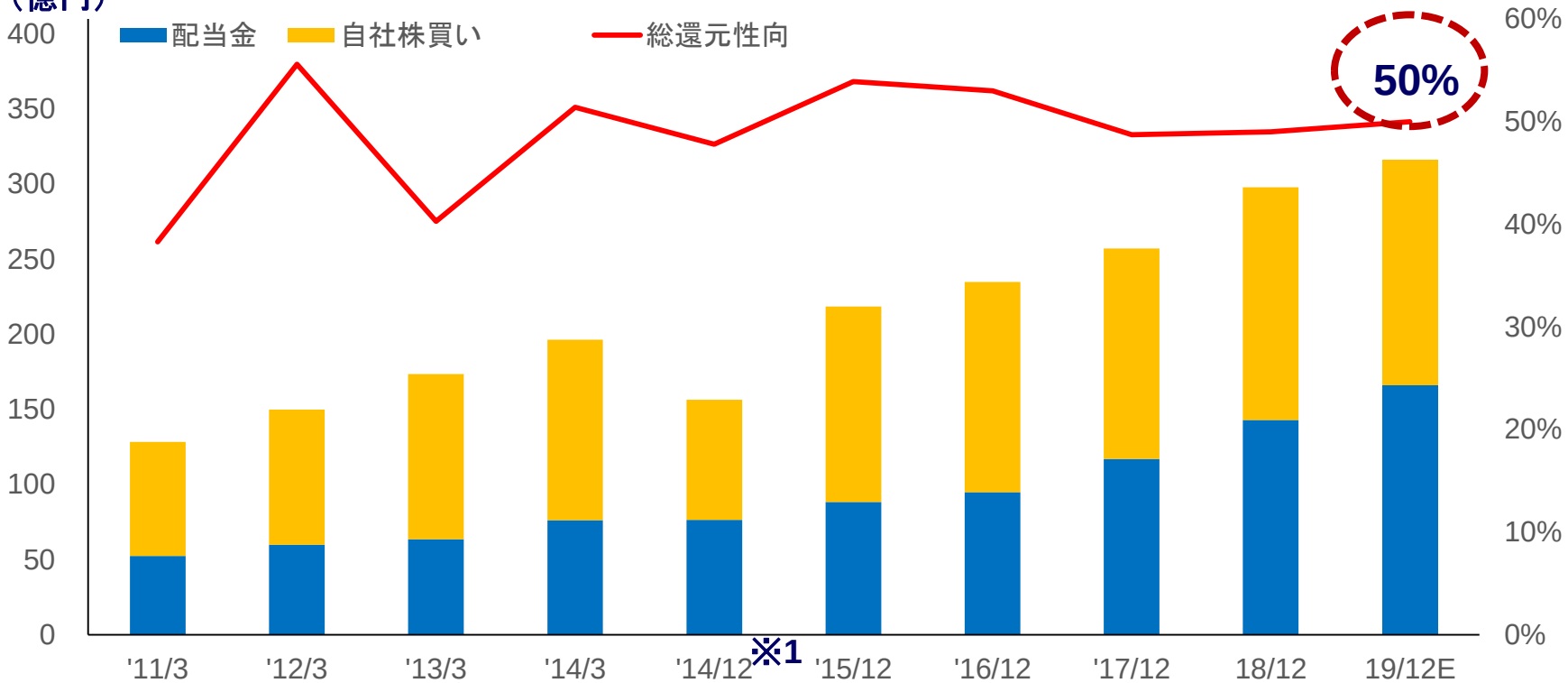
通貨	‘18/12期2Q累計レート	‘19/12期2Q累計レート	増減率
中国(CNY)	17.09	16.20	-5.2%
インドネシア(IDR)	0.0079	0.0078	-1.3%
タイ(THB)	3.43	3.49	+1.7%
インド(INR)	1.67	1.58	-5.4%
サウジアラビア(SAR)	29.02	29.38	+1.2%
ベトナム(VND)	0.0048	0.0047	-2.1%
米国(USD)	108.68	110.05	+1.3%
オランダ(EUR)	131.64	124.32	-5.6%
台湾(TWD)	3.69	3.56	-3.5%
韓国(KRW)	0.1012	0.0962	-4.9%
オーストラリア(AUD)	83.93	77.74	-7.4%
マレーシア(MYR)	27.63	26.71	-3.3%
ブラジル(BRL)	31.84	28.66	-10.0%
エジプト(EGP)	6.13	6.36	+3.8%
ロシア(RUB)	1.84	1.69	-8.2%

株主還元政策

業績に連動した配当金と自己株式の取得により 2019年度も総還元性向50%を目標。



株主還元政策 (億円)



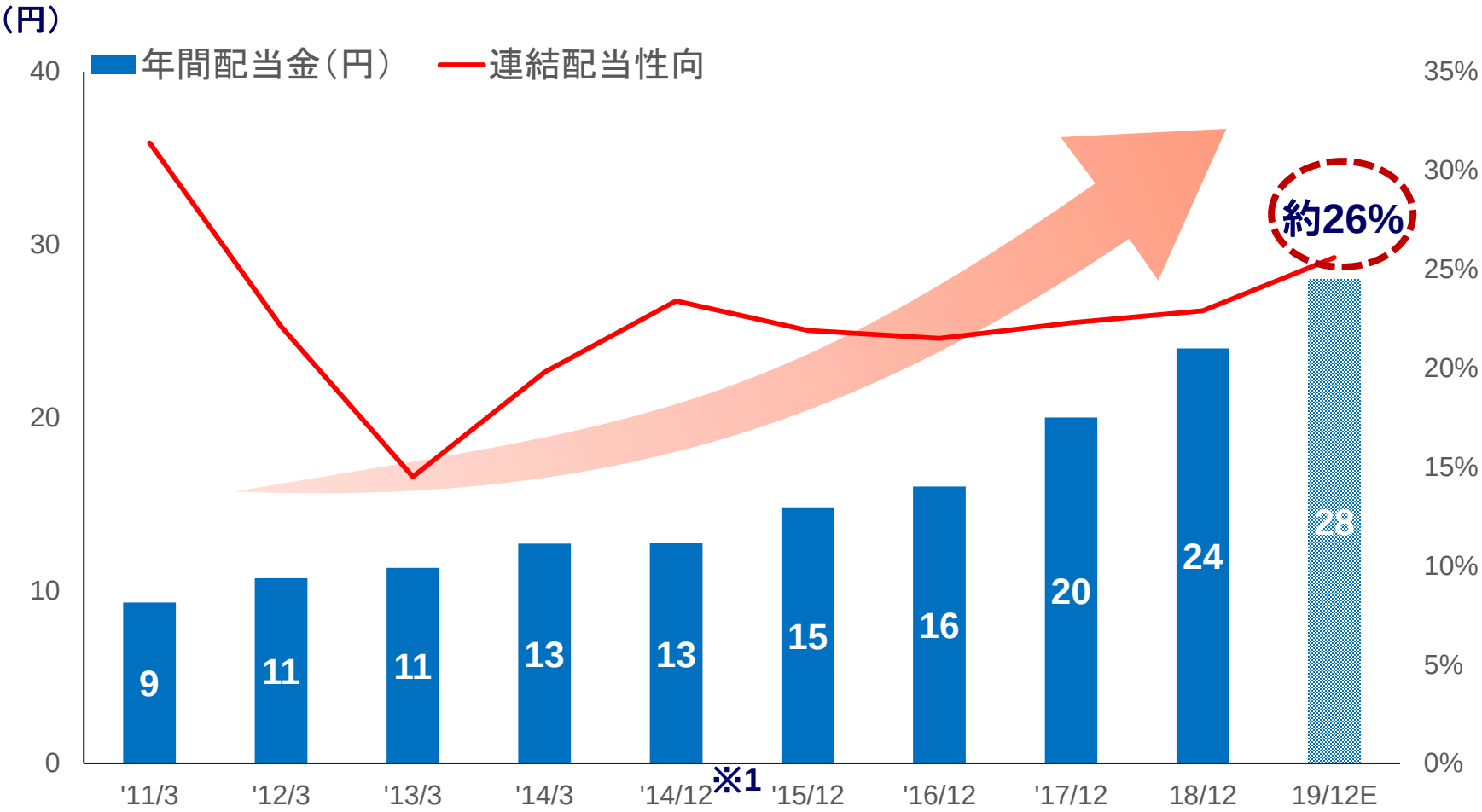
※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**に利益還元を図っております。

安定的かつ継続的な増配を実施し、18期連続増配を計画。
配当性向も上昇。



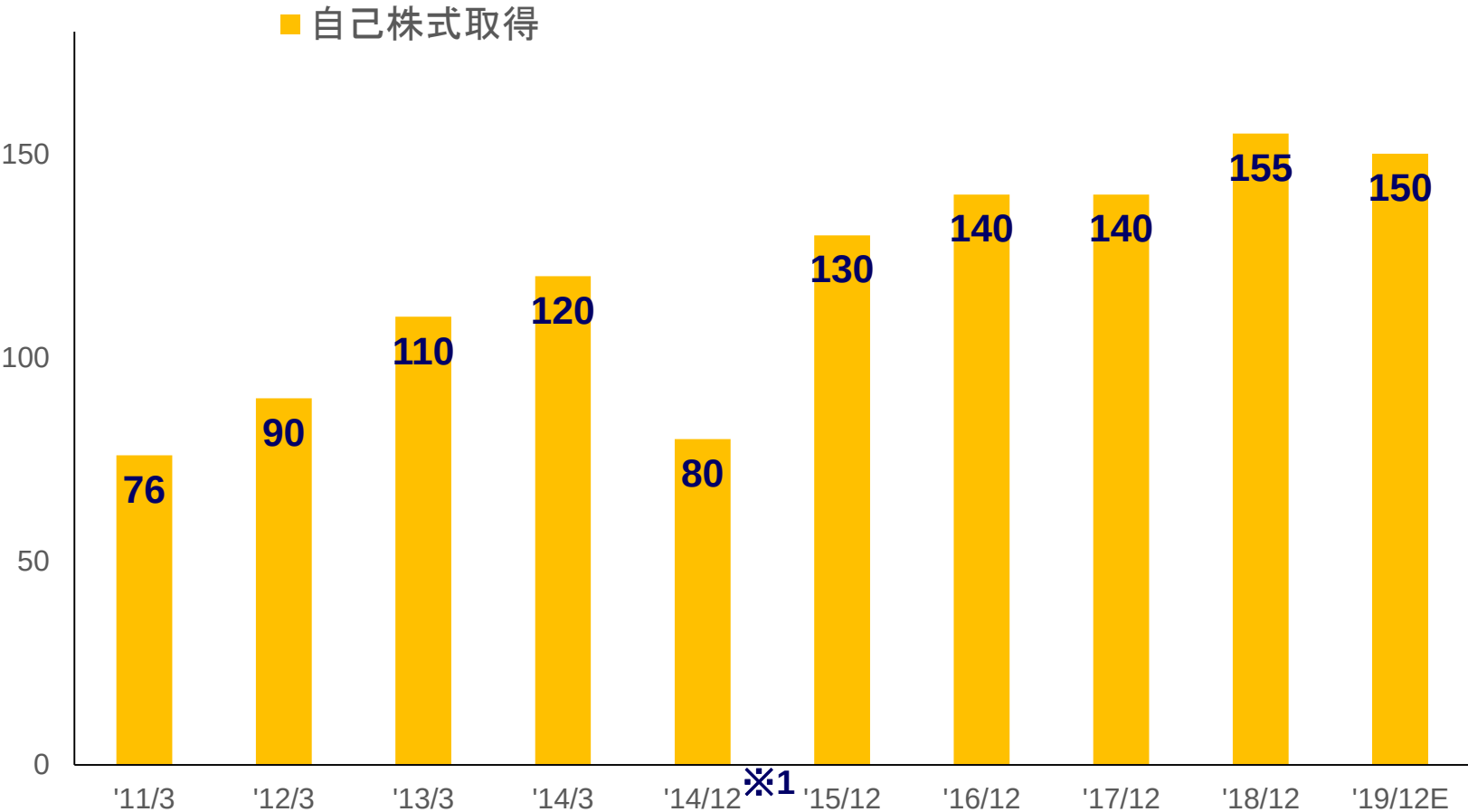
■ 1株当たり配当金の推移



※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

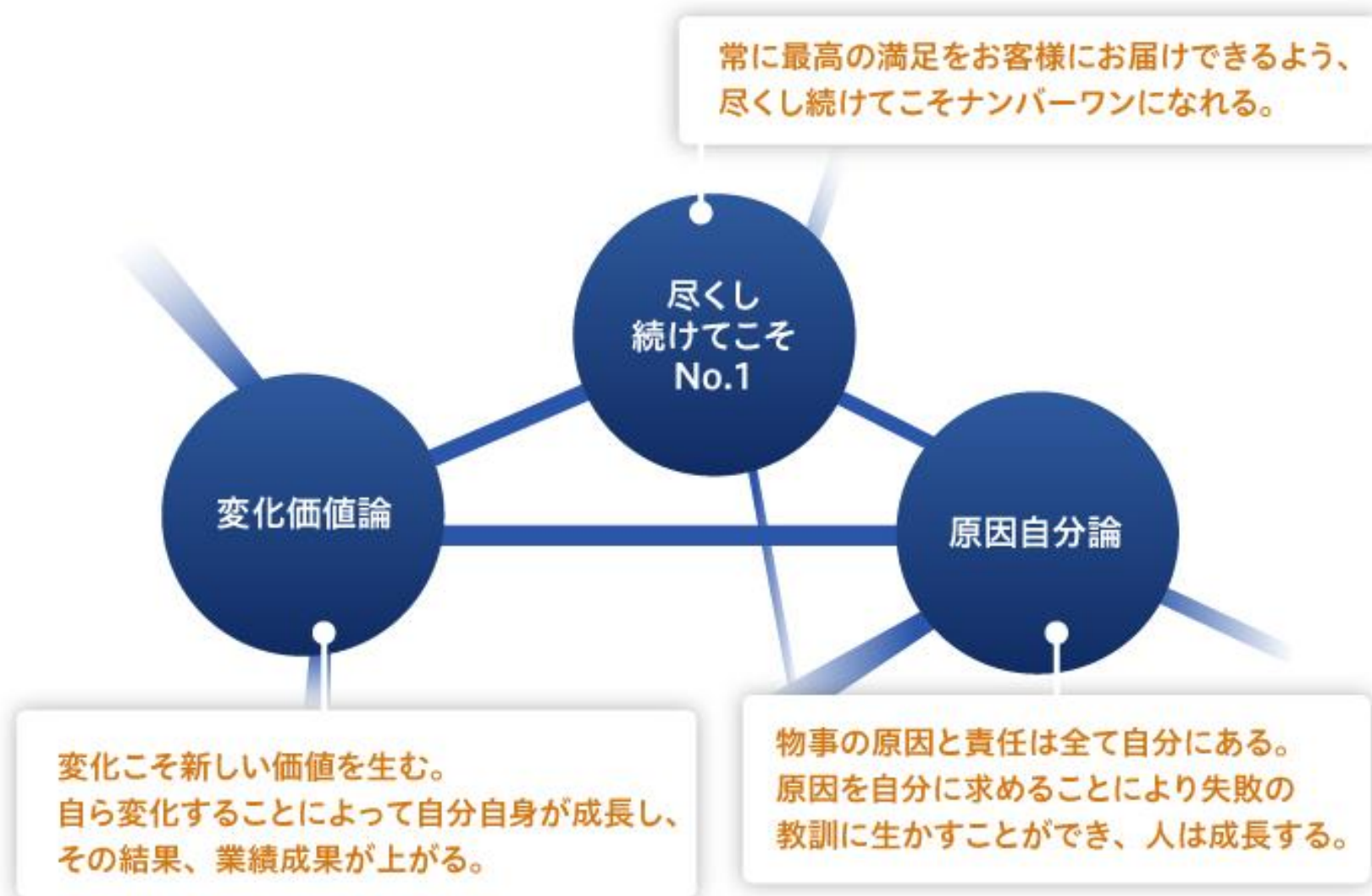
キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得。 ‘19年は、約150億円取得。

■ 自己株式取得の推移 (億円)



※1: 会計年度9ヶ月の変則決算。

企業価値向上に向けて



Best
Practice-ship

立場や面子など気にせず、
世界中のベストプラクティスを
死に物狂いで学び、
完璧でなくともその時点で
最高のものをスピード重視で
採り入れていくこと

Ownership

何事も自分事として捉え、
パラノイアのように
一心不乱に、
自ら率先して動くことで
困難を突破していくこと

Partnership

利他の心で常に
仲間や家族やお取引先様との
協働を重んじること

ライフタイムバリューの最大化による長期収益モデル

◆幅広い層をターゲットとした事業展開

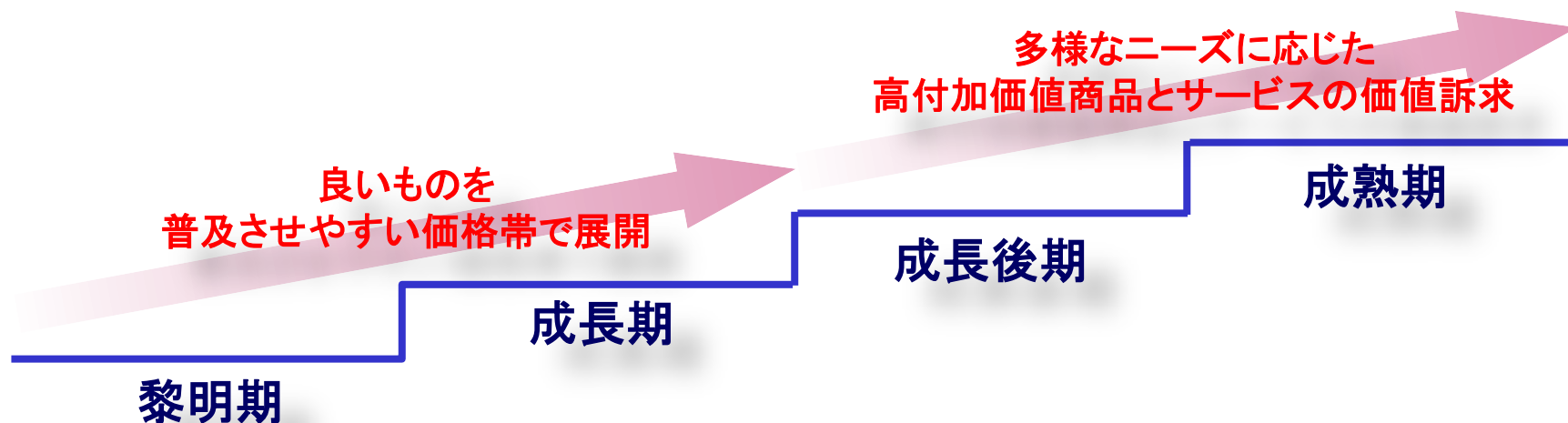
	 乳幼児	 若年	 中年	 高齢者	 ペット
パーソナルケア事業					
ベビーケア	●				
フェミニンケア		●	●		
クリーン&フレッシュ	●	●	●	●	
ヘルスケア			●	●	
ペットケア事業					●

持続的成長を支える強み

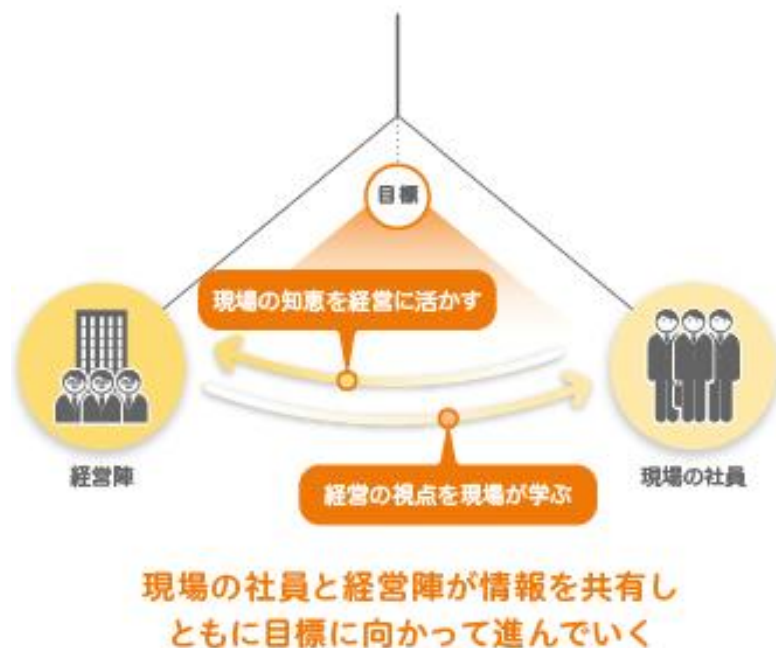
◆勝ちパターンの進化



◆各国・各事業の成長ステージに応じた戦略により市場を拡大



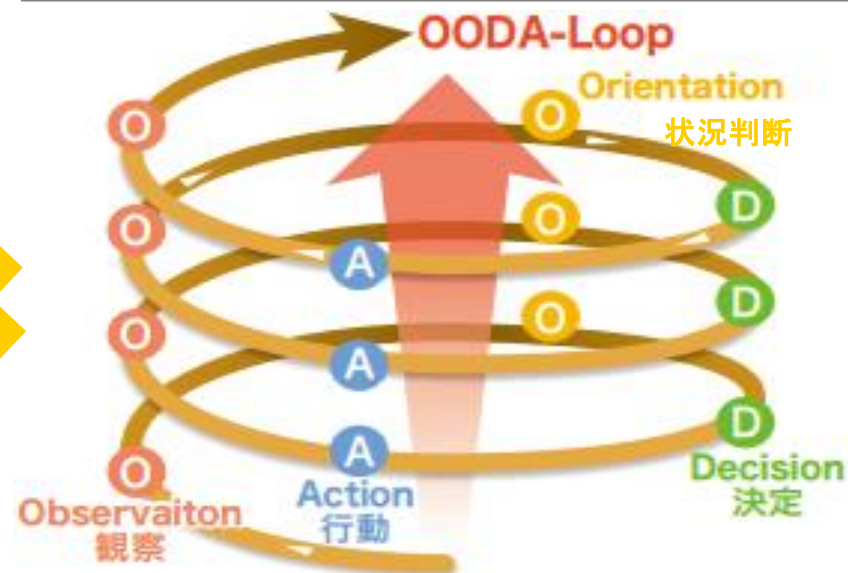
◆共振の経営



【BOP-ship】を全社員で発揮し、
変化を興し続ける

①Best Practice-ship ②Ownership ③Partnership

◆OODA-Loop手法



【変化が常態化した(ニューノーマル)環境】

Observation: 五感を駆使して状況を観察する。

Orientation: 得られた情報と過去の経験や知識を駆使して状況判断する。

Decision: 考えられる選択肢から成すべき意思決定をする。

Action: 速やかに実行する。(繰り返すループ)

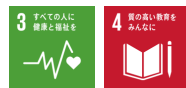
『共生社会』の実現に向けた取り組み

ユニ・チャームの目指す『共生社会』の実現に向けた取り組みを通じて、重要課題を解決し持続的な成長を実現



【ユニ・チャームの重要課題】

1. 健康寿命の延伸



2. 女性の自立支援 及び衛生改善



3. 地球環境への貢献



4. 地域社会への 貢献・人間尊重



5. 組織基盤の強化と 公正な事業慣行



重要課題に対する取り組み

E

環境負荷低減、廃棄物の削減

S

地域社会との共創共生、
サプライチェーンマネジメント

G

OODA-Loop・共振の経営、
コンプライアンス、品質管理

BC

育児生活の向上を実現する

FC

女性の快適を科学し、
自由を創造する

HC

生命の歓びを追求する

C&F

人・物・場の快適環境を創造する

PC

健康と清潔でペットの暮らし快適に

ユニ・チャームの目指す世界

全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる



共生社会の実現

【企業理念】

NOLA & DOLA

Necessity of Life with Activities & Dreams of Life with Activities



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに

健康寿命の延伸



◆『ライフリー』で健康寿命をささえる

■「ソーシャル・ウォーキング※」で健康寿命の延伸に貢献

※「社会参加&歩行」の造語で、人と関わり、楽しみながら歩くことを誰もが取り組みやすい形にした認知症予防のためのウォーキング（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所の監修のもと、当社考案。）



ソーシャル・ウォーキング
体験会参加延べ人数
1,572名

■ライオン(株)の介護用日用品「ラクタスケア」で協業を開始



◆保護犬・保護猫支援の取り組み

■保護犬・保護猫の支援活動を行っている、一般財団法人「クリステル・ヴィ・アンサンブル」様の“PANEL FOR LIFE”活動を支援



Christel
& Vie Ensemble



◆国内外で「ピンクリボン活動」に継続参加

■乳がん検診の早期受診・早期発見の重要性を2008年から11年連続発信



嬌聯股份有限公司
(台湾-大中華圏)
での「ピンクリボン活動」

◆ペットとの共生社会実現に向けた商品開発

■介護が必要な状態となった高齢のペットの生活を少しでも楽に快適にし、最期の時まで幸せであるように

獣医師が推奨する
ユニチャーム ペット Pro





女性の自立支援および衛生改善



◆「生理だから学校へ行けない」をなくす

- インド、インドネシア、ミャンマーでの初潮教育プログラムの展開
- 開発途上国関係者向け「学校保健」研修で初潮教育活動を講義



インドでの初潮教育活動



開発途上国関係者向け
「学校保健」研修



ミャンマーで開発した
初潮教育用教材

◆サウジアラビアの女性の就労支援

- 働きやすい環境をさらに拡大
 - ✓ 女性専用工場で託児所や子どもとも過ごせる休憩スペースを充実
 - ✓ 女性社員をリーダーに置き、工場運営をレベルアップ
 - ✓ 女性店頭販売員による店頭推奨活動を開始



◆低出生体重児への支援

- 低出生体重(2500g未満)で生まれた赤ちゃんとそのご家族、赤ちゃんの発達を支える医療従事者を支援する「ちいさないのち応援プロジェクト」が「消費者志向活動章」を受章
- 1,000g未満の赤ちゃんのための世界最小※おむつ「ムーニー フラットタイプ」発売



※ 2019年3月ユニ・チャーム調べ



◆ソフィ「#NoBagForMe」プロジェクト始動

- 生理や生理用品のことを隠すのではなく、気兼ねなく話せる世の中を目指したプロジェクトを開始





女性の自立支援および衛生改善



◆共働き世帯と保育士の負担軽減に向けた取組み

- 保護者がおむつを持参するケースが多いなか、保育園向けにベビー用紙おむつのサブスクリプション(定額課金)サービスを開始

moony

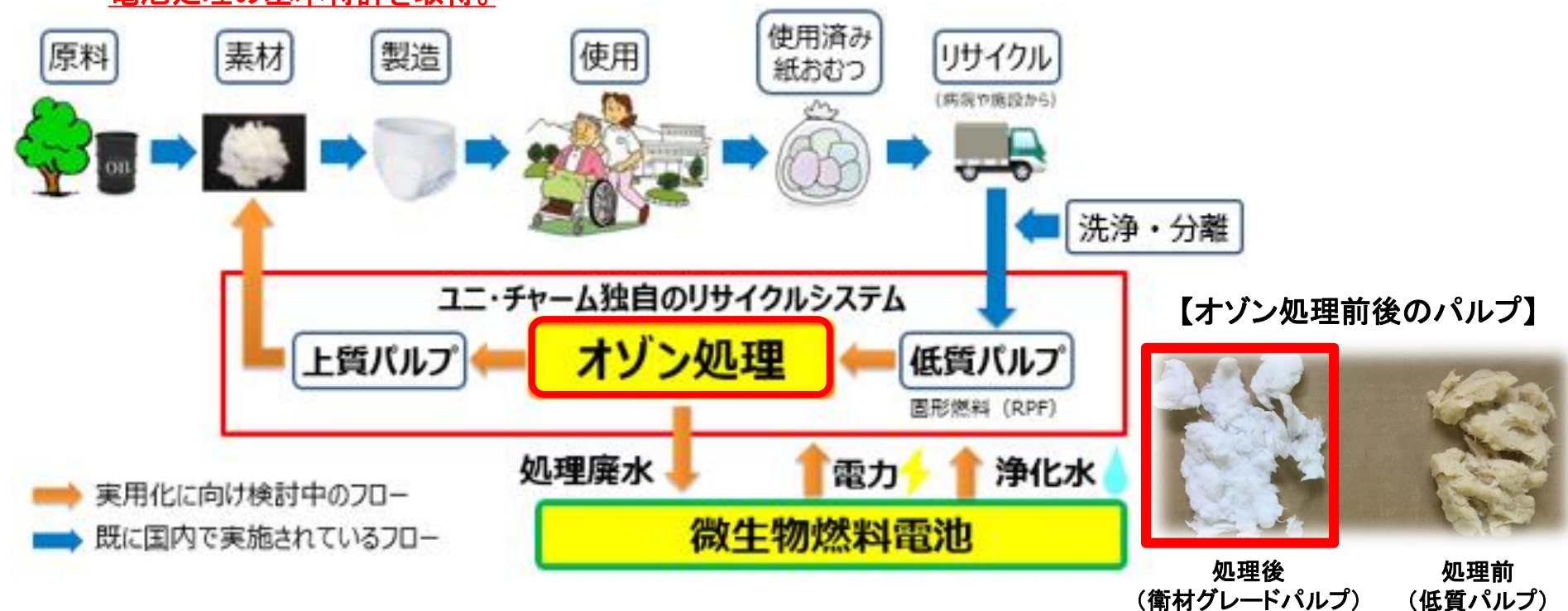




地球環境への貢献

◆ユニ・チャームの目指す紙おむつの循環型モデルの例

- 処理効率を高めることで、焼却と同等の処理費用に抑えながら、未使用素材と同等のパルプへと再資源化するシステムを実現
- ✓ 回収した使用済み紙おむつを洗浄・分離し、取り出したパルプに独自のオゾン処理をすることで、排泄物に含まれる菌を死滅させ、バージンパルプと同等に衛生的で安全なパルプとして再資源化。
- ✓ 洗浄・分離時に使用する処理水を再利用し、処理の効率化と排水量の低減化を実現。
- ✓ 広島大学との共同研究で、再生濃縮排水を浄化して発電する技術を開発し、2017年には、微生物燃料電池処理の基本特許を取得。





地球環境への貢献



◆商品を通じたCO₂の削減活動の取り組み

- 環境性能が向上した「環境配慮型商品」の概念をさらに発展させて持続可能な社会への適合を推進する上位商品を「エコチャーミング商品」として定義。基準をクリアした商品は158品目。(2018年12月現在)

■環境配慮型商品の体系



◆工場における廃棄物削減の取り組み

- 紙おむつの製造工程で発生してしまう廃棄物などを商品化し、埋立廃棄物ゼロを実現
- 海外においても、タイ現地法人で埋立廃棄物ゼロを実現



◆生鮮食品の食品ロス削減の取り組み

- 余分な水分のみを吸収し、空気を通す「フレッシュマスター」で鮮度の劣化や変色を防ぎ、精肉(約3日)・鮮魚(約6日)の食品ロスに貢献



牛肉変色実験・保存3日目
(肉の表面)
左 フレッシュマスター
右 当社ミートペーパー



6日間保存した本マグロ
左2点 フレッシュマスター
右2点 当社キッチンペーパー

◆ブラジル工場で再生可能エネルギー100%達成

- 気候変動への対応として再生可能エネルギーを活用し、CO₂排出削減活動を推進





地域社会への貢献



◆被災地支援の取り組み

■ 被災地支援と節電活動を組み合わせたマッチングファンド※の継続

- ✓ スーパークールビズ/ウォームビズ参加人数は、のべ17,321名(8年間)
- ✓ 災害時の被災地への義援金、物資の支援に活用

■ インド洪水被災地への物資支援

■ 「平成30年7月豪雨」被災地への物資支援



支援物資を積み込むトラック



※「被災地支援」と「節電推進」を目的に、社員が着用するオリジナルポロシャツやジャンパー、グッズなどを社内で販売。社員の購入した代金相当額と同額を寄付する制度。

◆地域活性化支援

■ 静岡県掛川市、鹿児島県志布志市と災害対策や子育て支援、健康増進など7分野における『包括連携協定』を締結

■ 福岡県、香川県、福島県福島市、熊本県熊本市などと『災害時における物資の供給協力に関する協定』を締結

■ インドネシア児童養護施設への継続支援と交流

■ 家族みんなで災害へ備える衛生情報「マイスタイル防災」

■ 「ITFユニ・チャームトロフィー愛媛国際オープン」に協賛



マイスタイル防災

<http://www.unicharm.co.jp/csr-eco/mystylebosai/index.html>



ユニ・チャームインドネシア児童養護施設訪問時の様子



大会関係者の方々と
当社・高原社長

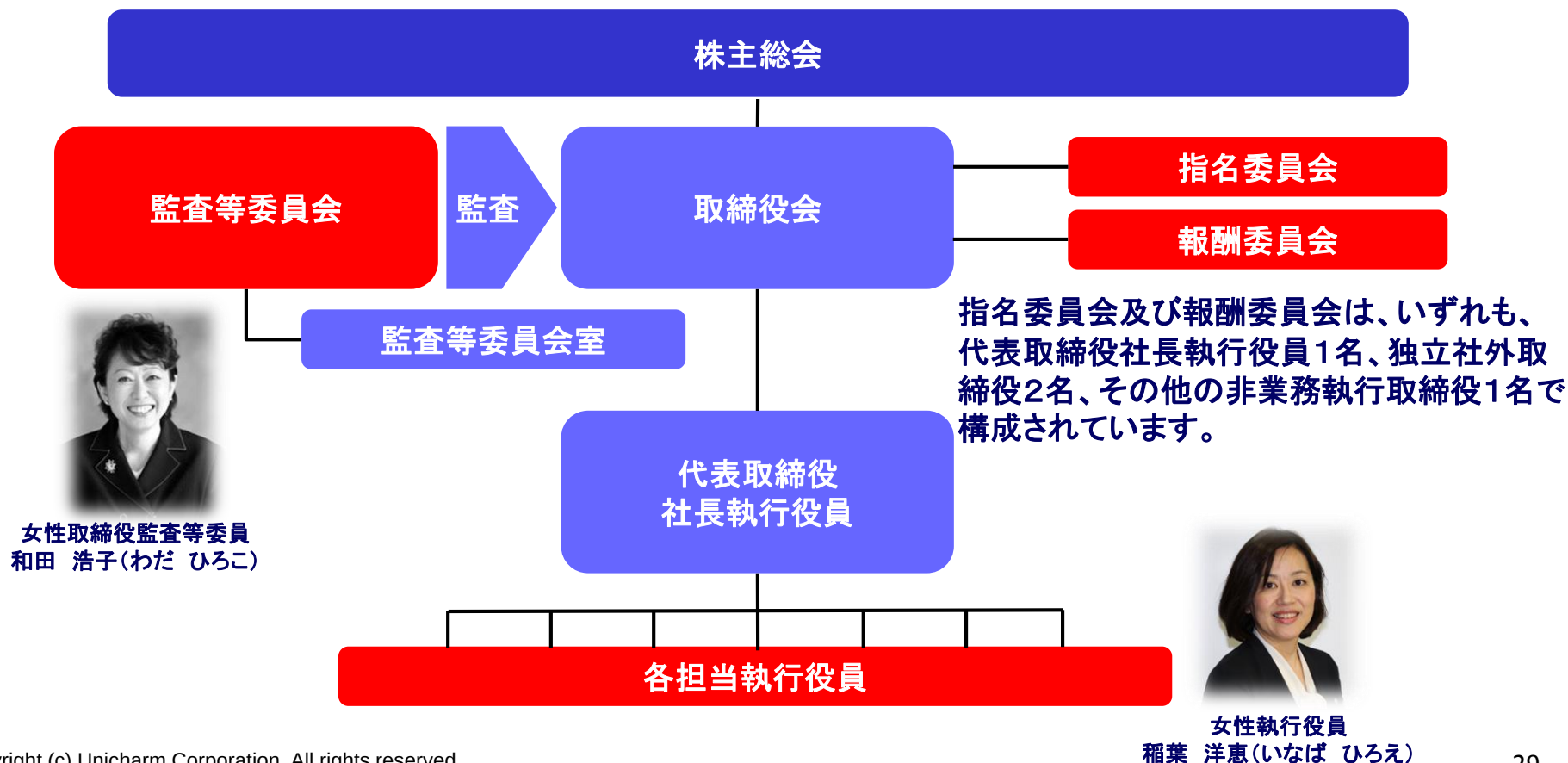


組織基盤の強化と公正な事業慣行



◆透明性・客観性・公平性強化に向けたガバナンス体制の整備

- 指名委員会及び報酬委員会の委員長を、代表取締役社長執行役員から独立社外取締役に變更
- 取締役6名のうち、女性1名を含む2名(3分の1)を独立社外取締役とし、取締役会の意思決定・監督機能の更なる向上と業務執行機能を強化
- 生産性向上と女性活躍をテーマに、働き方改革を推進



企業理念『Nola&Dola(生活者の“夢”をかなえる)』ための デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組み



◆「共生社会研究所」の設置

■ 生体情報を得ることで「本質価値」を発見



◆人工知能を活用した「大人用おむつNavi」

■ 大人用紙おむつ業界初！人工知能を活用して最適なおむつ選びをアドバイス



◆生活者の悩みの種を拾い、解決する情報の提供

- 中国にて展開する育児動画メディア「Babily」(ベビリー、中国名”贝贝粒”)
- 子どもが進んでトイレに行きたくなる「ムーニーちゃんとトイレトレーニング」アプリ
- ソフィ母娘で簡単！はじめての生理日管理



◆人と知恵と設備の融合を目指したスマート工場

- 最先端のAI技術を導入し、安全性と生産性を高めながら労働負荷も削減するよう自動化。環境にやさしく、地域社会との共生も重視。



GPIF採用ESG指数における3指数の構成銘柄に選定

総合型指数

選定



FTSE Blossom Japan

MSCI  MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

その他SRI指数

選定



FTSE4Good

テーマ指数

選定



選定



MSCI  MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



GPIF設定なし

■ Science Based Target



- ✓ 2018年6月、日本で17番目の目標設定企業として認証

■ RSPO



- ✓ 責任あるパーム油の調達を目指し、2018年より認証パーム油（マスバランス）の使用を開始

■ JCI (日本気候変動イニシアティブ)



- ✓ 「初期memberとして、先進グループのベストプラクティスを展開

■ CDPジャパン500



- ✓ 森林資源管理のPDCAサイクルが高いレベルで機能し、A-評価（A-以上は日本で4社）を獲得

■ FSC (Forest stewardship council)



The mark of responsible forestry
FSC® N002492

- ✓ 森林認証で一番厳しい認証の基準をクリアするパルプを優先して使用
- ✓ SDGsを推進するためバンクーバー宣言に賛同

■ TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース)



- ✓ TCFDコンソーシアムを通じて、国際的な議論への参加や効果的な情報開示に積極的に取り組み「環境と成長の好循環」の貢献を目指す

■ Sedex



- ✓ グループ工場においては日本とアジア主要国、サウジアラビアなどの19工場をSedexに登録することにより、従来の監査の有効性を確認し、社会のサステナビリティに貢献

■ 攻めのIT経営銘柄



- ✓ 戦略的なIT活用に取り組む企業として選定

■ ホワイト500



- ✓ 働き方改革の取り組みが評価され、2019年度も継続認定

■ プラチナくるみん



- ✓ 優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん」を取得

■ 第7回「企業価値向上表彰」優秀賞を受賞



- ✓ 資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、企業価値の向上を実現している上場会社として表彰



ユニ・チャームは
全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる“共生社会”の
実現に寄与するために、
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供しつづけます。